

木の住まい論 9

日頃は、当センターのいえかて事業をご利用賜り厚く御礼申し上げます。
4月になり通勤時には新入生や新入社員の方々を見かけることが多くなり、新年度を実感しています。今年度もどうぞ変わらず、登録住宅いえかてWEBをご利用ください。
さて、今回は、「木の住まい論」の続きをお届けします。

木の住まい論9 コロナ禍が鮮明にした「宇宙船地球号」(1)

コロナ禍は、すぐもとに戻る一過性の災いとしてとらえるわけにはいかない。ワクチンが完成し、間もなく接種を実施できるようになってきたが、まだまだ感染の抑制は一進一退で、目に見えないウイルスに、いや目に見えないからこそ、全世界が右往左往させられている。

近年のサース・マーズ、エボラ熱など、以前のコレラやスペイン風邪と、いろいろ経験して乗り越えてきたはずなのに。感染症への対応、いやすべての自然災害への対応は、みな、寺田虎彦の「天災は忘れたころにやってくる」の名言から逃れられないのかもしれない。しかし、だからこそ、コロナについても、それぞれによく考えておかなければならない。

感染症の防御は、感染源を遮断すればよいのだが、これが大変に難しい。ウイルスが目に見えないから、遮断が難しいだけでなく、言いしれない恐怖心をも引き起こす。

ウイルスの遮断はどうすればよいのか？それぞれがカプセルに入り、隔絶した生活が出来れば、ウイルスも行き場を失う。あるいは、ウイルスだけを探索して殺すことができれば、ウイルスはいなくなってしまう。しかし、これらは全くの夢物語でしかない。私たちの社会生活のなかで、よくはわからない仕方でもって拡大縮小を繰り返すのである。

コロナ禍は、この間、世界のいろんな実像をあぶりだしてきた。現在も世界を露わにし続けている。国や地域によって、コロナへの対応が、しっかりしているところと、指導者がコロナに関する科学的な見解すら否定する者の指導する国、私たちの対策についてのそれこそ上から目線の演説もあれば、生活者の実感に寄り添った説得など、実にさまざまである。感染は、対策や人々の対応次第で、拡大・縮小の波を打ったりするものであるから、科学的知見に基づいたしっかりとした対策方針が求められる。

コロナ禍を通じて、世界と人間について、わかってきたこと・見えてきたことがある。これをしっかりと見すえて、未来へ生かしていかなければならない。

一つは、人にとって、「つながり(絆)」と「協働(コミュニティ)」が決定的に重要な要素であるということである。外出自粛・ステイホームから都市のロックダウン、海外渡航の禁止など、自由な移動を差し止め、仕事の移動すら制限しホームからのテレワークを推進する。商店の営業なども生活必需品に限定する。人と人の接触を最小限度にとどめる措置をとる。これは、感染症の克服には全く理にかなった対応措置である。

しかし、今まで日常であった人とのつながりを断ち切らなければならなくなる。そうやって、改めて、人とのつながりこそが、私たちの生活を支え、心の喜びをもたらしていた、いわば、人間にとっての必須の条件であったことに気づくことになったのである。洪水・地震などの復興のときの中心的なスローガンの「つながり(絆)」は、復興のためのコミュニティ原理を超えた、人間生活・人間存在の基本条件であったことにコロナ禍は改めて気づかせてくれた。

そんなに長期でなければ外出自粛は仕方がないと納得することができるが、都市のロックダウンともなると、これは一種の「戒厳令」に他ならず、移動の自由という基本的な人権の侵害にも相当する。メルケル首相などは、一部の国境閉鎖について絶対に必要な場合にのみの扱いであることを真摯に訴えたところである。

(この項 続く)

一般社団法人住宅長期支援センター
理事長 東樋口 護
(公立鳥取環境大学名誉教授)

<賛助会員様の情報提供>

<https://kitoiro.com/> 無垢の木に様々な色や柄を特殊塗装「kitoiro」－(株)ウッドワン

<https://www.woodone.co.jp/product/kitchen/> 木を育てている会社が作る、木のキッチン！－(株)ウッドワン

<https://www.jfd-gr.co.jp/> 地盤調査・改良工事のエキスパート－(株)JFD エンジニアリング

- ※ 維持保全計画、点検の実施についてのご質問、ご不明の点は、事務局までお問合せください。
- ※ 「登録住宅いえかるて」については、ホームページをご覧ください。<http://www.holsc.or.jp/iekarute/>
- ※ 「登録住宅いえかるて」WEBの「住宅所有者ID」をお忘れの方や不明の方、ご質問や資料をご希望の方、「担当の点検登録店」がご不明の方は、info@holsc.or.jp へメールをお願い致します。
- ※ センターのブログ、Facebook も是非ご覧ください。
 - ブログ <http://www.holsc.or.jp/information/blog/>
 - Facebook <https://www.facebook.com/一般社団法人-住宅長期支援センター-265533456815676/>
- ※ お住まいのご質問や相談、空き家の管理や活用の電話相談を承っています。
- ※ 自治会や子供会等へ「住まいの出前講座」をお受けしています。イベント企画にご利用ください。
- ※ このメールマガジンをご希望、又は不要の場合は、info@holsc.or.jp へご連絡をお願い致します。

一般社団法人 住宅長期支援センター

TEL : 06-6941-8336 FAX : 06-6941-8337 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4 MF 天満橋ビル5階